

事業所名

BLUE PLANETSはいき

支援プログラム（居宅訪問型児童発達支援）

作成日

令和6年

11月

1日

法人（事業所）理念		支援を必要とするお子さまとその家族の心が癒され、穏やかな生活を送ることができるように、保育士や療養士が協力して、専門的な視点で寄り添っていきます。					
支援方針		①心理検査（アセスメント）を用いて、支援の根拠を追求します。 ②『アセスメントと一体化した支援』『科学的根拠に基づいた療育』を実施します。 ③療育の成果について、アセスメントを用いて客観的に効果判定します。					
営業時間		8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日々の健康状態、呼吸状態、筋緊張、表情の確認を行います。ご家族と相談しながら吸引、加湿、酸素療法などの医療的ケアを行いながら進めていきます。 呼吸の状況に合わせて、呼気の補助、ポジショニング、姿勢変換を行い、排痰の援助をしていきます。 日常生活に必要な、食事、排泄、睡眠、衣服の着脱、身の回りのことなどを獲得できるよう、環境の工夫を行いながら、発達状況に応じて適切な時期に適切な支援を行います。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 関節可動域の維持・改善を図り、動きに必要な筋緊張の調整を、保有する色々な感覚（視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚など）を活用しながら促していきます。 寝返りや起き上がり、立ち上がり、歩行などの動きに対して、頭部・体幹・手足の協力動作がみられるよう支援していきます。 安心して自宅で生活ができ、遊びや活動に興味を持てるよう、ご家族と相談しながら、抱っこやポジショニング、姿勢保持具の調整などを行います。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心、認知特性に応じて、可能な限り体験的な活動・遊びを提供し、積み重ねることができるよう支援していきます。 頭部・体幹が安定できる姿勢を調整し、環境を整え、目と手の協調性につながるような支援を行い、興味・関心が広がるよう工夫していきます。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 小さなサインや表情、目線、呼吸の状態、筋緊張の変化を観察し汲み取り、発声や笑顔がみられるよう、丁寧に対人的やり取りを行っていきます。 スキンシップを図り、好きな遊び・パソコン・タブレットなどを活用して、環境の変化への気づきを促し、主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援していきます。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 抱っこやスキンシップ、感覚運動遊びを通して、基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感、人に対する信頼感を育むことができる支援を行っていきます。 遊びを通じて、自発的な動きや主体性を尊重し、自分の気持ちや感情への気づきを促し、対人関係の芽生えを支援していきます。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画やモニタリングなどの定期的な面談以外にも、児童や家族、きょうだい児に対して家庭でできる支援方法等についての相談援助を行います。 			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 同年代の子どもとの仲間づくりを進めるために、保育所や就学先等との情報共有や支援方法のすり合わせを行います。また、移行に向けて就園や進学に関する情報提供や助言を行います。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 支援に関わる医療機関や訪問看護、事業所等と情報共有を行います。 保育園・幼稚園・学校については情報共有を行い、子どもとの関わり方のポイントを検討したり、環境調整の提案などを行います。 			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内研修の実施や外部研修への参加等、職員の質の向上を図り、提供する支援の質の向上を図っています。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> お正月、こいのぼり作り、ハロウィン、クリスマスなど季節に応じた活動・制作を行っています。 こどもふくし協議会に参画し、他の事業所への後方支援を行っています。 					